

Q 金融機関の安全性をチェックするにはどうすればいいですか？

A 金融機関の安全性は財務内容をチェックすることにより、ある程度まで確認できます。格付けを参考にするとともに、決算書やディスクロージャー誌に目を通すとよいでしょう。

解 説

資産形成・運用を行うに当たっては金融商品の商品性をチェックするだけでなく、金融機関そのものに目を向けることも重要になります。仮に、元本保証の金融商品で資産形成・運用を行っても、金融機関の経営が破たんしては元も子もないからです。

金融機関そのものをチェックするときには経営内容の健全性に注目しましょう。健全性とは経営破たんに陥る可能性が低いかどうかということです。

具体的には、資金のやり繰りが円滑に行われているか、利益を每期出しているか、多額の不良債権などを抱えていないか、といった点を確認することになります。

このうち資金のやり繰りに関する能力を「債務の支払い能力」といいます。これ

は「格付け」等(次ページ参照)でチェックすることができます。

一方、利益や損失の状況や程度をチェックするときは決算書やディスクロージャー誌に目を通しましょう。

また、注目すべきポイントは金融機関によって異なります。たとえば、銀行は自己資本比率と不良債権比率、証券会社は自己資本規制比率、保険会社は保有契約高や新規契約高の伸び、ソルベンシー・マージン(保険金支払い余力)比率などです。

とはいえ、健全性をチェックするための絶対的な指標はありません。株価も含め、できるだけ多くの経営・財務情報を集めて分析することです。その際、同業他社と比較することも大切になります。

MEMO

ディスクロージャー誌

ディスクロージャー誌とは経営情報開示資料のことです。各金融機関が決算期ごとなどに発行します。決算データのほか、業務内容や事業の方針、中長期的な経営計画、経営理念、商品・サービス案内などが掲載されています。

格付け

格付けは本来、債券の発行体の債務の支払い能力を評価するものです。それが転じて金融機関の健全性を判断する目安としても活用されています。

専門家でない個人が決算書などの財務資料を読みこなすのは大変です。ましてやそれに基づき、経営・財務状況を正確に判断するのはさらに難しいでしょう。

そこで、有力な判断材料の1つとして注目できるのが格付けです。

格付けは本来、金融機関を含めた債券の発行体について、債務の支払い能力を評価するものです。その発行体の利息や元本の支払能力がどの程度のレベルにあるのか、債券を購入する際に参考にするわけです。

もちろん、債務の支払能力と金融機関の健全性は必ずしもイコールではありませんが、目安として活用することは十分可能です。複数の金融機関のランキング表を見れば、比較するのも簡単です。

格付けは格付け機関が行います。ムーディーズとスタンダード&プアーズの2社が世界的に有名です。わが国では格付投資情報センターや日本格付研究所などが活動しています。

これらの格付け機関は利害関係のない第三者として中立的な立場から格付けを行います。基本的に、格付けされる側から提出されたデータをもとに、経営の安全性や信用力などを分析・評価します。ただし、公表された情報(有価証券報告書など)だけで分析・評価する「勝手格付け」もあります。格付けを見るときはその違いを知っておいたほうがよいでしょう。

実際の格付けはA、B、Cや+、-などの記号で表されます。その意味は次ページの表のとおりです。

なお、格付けは分析・評価した時期によって変わることも珍しくありません。さらに、同じ発行体に対する格付けが格付け機関によって異なることもあります。あくまで参考資料や目安として活用しましょう。

格付けは変更があった際に新聞などで発表されるほか、格付け機関のホームページでも知ることができます。

長期個別債務格付けと定義

長期個別債務格付けは、個々の債務等の支払いの確実性についてのR&Iの意見です。長期個別債務格付けは、債務不履行となる可能性に加えて回収の可能性(債務不履行時の損失の可能性)も評価します。そのため、発行体格付けを下回る、または上回ることがあります。

AAA	信用力は最も高く、多くの優れた要素がある。
AA	信用力は極めて高く、優れた要素がある。
A	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
BBB	信用力は十分であるが、将来環境が大きく変化する場合、注意すべき要素がある。
BB	信用力は当面問題ないが、将来環境が変化する場合、十分注意すべき要素がある。
B	信用力に問題があり、絶えず注意すべき要素がある。
CCC	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が強い。債務不履行に陥った債権は回収が十分には見込めない可能性がある。
CC	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が極めて強い。債務不履行に陥った債権は回収がある程度しか見込めない。
C	債務不履行に陥っており、債権の回収もほとんど見込めない。

2009年6月現在

■ プラス(+)、マイナス(-)表示

AA格からCCC格については、上位格に近いものにプラス、下位格に近いものにマイナスの表示をすることがあります。なお、CC格では、契約の内容や回収の可能性などを反映し、長期個別債務格付けを発行体格付けと異なる符号にする場合、プラス、マイナスを付けることがあります。

格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務の支払いの確実性(信用力)に対するR&Iの意見を、一定の符号によって投資家に情報として提供するものです。個々の債務の格付けには、債務不履行になる可能性と回収の可能性(債務不履行時の損失の可能性)が含まれます。

各社の格付け情報は格付け機関のホームページで検索できます

■ 日本の主な格付機関 ● 格付投資情報センター(R&I) http://www.r-i.co.jp/ ● 日本格付研究所(JCR) http://www.jcr.co.jp/	■ 米国の主な格付機関 ● ムーディーズ ジャパン http://www.moodys.co.jp/ ● スタンダード&プアーズ http://www2.standardandpoors.com/
---	--

投資者保護に関するルールは、今後も状況に応じて変更される可能性があります。詳しくは下記の連絡先、ホームページ等でご確認ください。

預金保険機構ホームページ
<http://www.dic.go.jp/>

日本投資者保護基金ホームページ・連絡先
<http://jipf.or.jp/>
 03-3667-9670(代)

生命保険契約者保護機構ホームページ
<http://www.seihohogo.jp/>

損害保険契約者保護機構ホームページ
<http://www.sonpohogo.or.jp/>

あなたと資産の安心のために
金融商品のセーフティネット

発行：野村証券株式会社
 監修：株式会社野村資本市場研究所
 参考資料：金融広報中央委員会「金融商品の保護」

この冊子の内容は2009年6月15日現在の情報に基づいております。